

## 各圏域における事業進捗状況

精神障害のある方が、地域の一員として安心して自分らしい暮らしをすることができるようにするためには、医療機関による退院支援や地域の福祉関係者による地域生活支援の両面が必要であることから、保健、医療、福祉関係者による精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築を推進します。（第六次千葉県障害者計画）

### 1 千葉県精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業について

- ・各障害保健福祉圏域に圏域連携コーディネーターを配置し、保健所や地域の関係機関と協働して地域課題に取り組む。
- ・圏域ごとに、保健、医療、福祉関係者による2層構造の協議の場（実務者会議、代表者会議）を設置。
- ・地域課題に応じた各事業を選択的に実施。

### 2 圏域別の会議体の開催状況

別添1「会議体の開催状況」のとおり

### 3 各圏域における今年度の事業実施状況（詳細は別添2「事業進捗状況」のとおり）

事業内容	事業予定圏域（圏域数）
精神障害者の住まいの確保支援に係る事業	習志野、船橋、松戸、柏、印旛、香取、山武、長生、君津、市原（10）
ピアサポートの活用	習志野、船橋、市川、松戸、柏、印旛、香取、海匝、山武、長生、夷隅、安房、君津、市原（14）
入院中の精神障害者の地域移行に係る事業	習志野、船橋、市川、松戸、柏、印旛、海匝、山武、長生、夷隅、安房、君津（12）
包括ケアシステム構築状況の評価に係る事業	船橋、市川、印旛、長生、君津、市原（6）
精神障害者の地域移行関係職員に対する研修に係る事業	習志野、船橋、市川、松戸、柏、野田、印旛、香取、海匝、山武、長生、夷隅、安房、君津、市原（15）
精神障害者の家族支援に係る事業	習志野、船橋、松戸、印旛、海匝、長生、夷隅、君津、市原（9）
その他※	野田、印旛、海匝、山武、長生、夷隅、安房、市原（8）

※社会資源マップの作成（野田・夷隅）、大学生へ普及啓発（印旛）、災害時対応の検討（印旛）、事例検討（海匝）、自立支援協議会との連動（山武）、市民向け映画上映会（長生）、公立高校保健体育の授業で普及啓発（夷隅）、民生委員向け普及啓発等（安房）、こころの健康のつどい（安房）、精神保健福祉フェスタ開催（市原）、

(別添1)

## ○会議体の開催状況

令和2年1月末現在

圏域名	種 別	開催頻度（計画）
習志野	代表者会議	年1回
	実務者会議	年 1 2 回
船橋	代表者会議	年 1 回
	実務者会議	年 4 回
市川	代表者会議	年 1 回
	実務者会議	年 5 回
松戸	代表者会議	年 2 回
	実務者会議	年 4 回
柏	代表者会議	年 1 回
	実務者会議	年 6 回
野田	代表者会議	年 1 回
	実務者会議	年 6 回
印旛	代表者会議	年 2 回
	実務者会議	年 4 回
香取	代表者会議	年 1 回
	実務者会議	年 5 回

圏域名	種 別	開催頻度（計画）
海匝	代表者会議	年 1 回
	実務者会議	年 6 回
山武	代表者会議	年 1 回
	実務者会議	年 7 回
長生	代表者会議	年 1 回
	実務者会議	毎月 1 回
夷隅	代表者会議	年 1 回
	実務者会議	年 6 回
安房	代表者会議	年 2 回
	実務者会議	毎月 1 回
君津	代表者会議	年 1 回
	実務者会議	年 6 回
市原	代表者会議	年 1 回
	実務者会議	年 6 回

## ○事業進捗状況

(別添2)

令和2年1月末現在

圏域名	事業名	事業計画	実施状況
習志野	住まいの確保支援	習志野市地域共生協議会相談支援部会と協働し、習志野市内の不動産会社・商工会議所等を招き情報共有の会議を開催予定。	3/10 研修：株式会社あんどの取組について、友野氏の講演予定
	ピアサポートの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出張ピアサポート</li> <li>・病院職員の研修や家族会の研修・啓発のための市民向け講演会での体験報告</li> <li>・ピアスキルアップ研修</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6/18・11/19しのだの森ホスピタルDCでリカバリーについてピアが研修</li> <li>・7/13・7/27下総病院職員研修で地域移行と当事者の体験発表</li> <li>・外部の研修会の機会に当事者グループ（2団体）の代表者等の参加を後方支援</li> </ul>
	地域移行に係る事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事例検討から病院と地域の連携体制づくりなどについて協議する。</li> <li>・パンフレットの配布。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鎌ケ谷市自立支援協議会包括ケアチームとして事例検討から見えてきた仕組みをフローチャートの作成を予定</li> <li>・パンフレットを病院等に配布</li> </ul>
	地域移行関係職員研修	地域の社会資源の現状把握を目的とし、圏域内病院等の職員や家族会員を対象とした施設見学を実施予定。	・9/20 ワーナーホーム見学
	家族支援	地域の社会資源の現状把握を目的とし、圏域内病院等の職員や家族会員を対象とした施設見学を実施予定。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講演会：1/10肥田先生・2/13ACT－Ail香取氏</li> <li>・家族会定例会で包括ケアについての説明など：5/21・10/15（八千代）、5/24（習志野）、鎌ケ谷は市と共同し、後方支援</li> </ul>

圏域名	事業名	事業計画	実施状況
船橋	住まいの確保支援	市内精神科病院職員を対象とした、居住支援サービスに関する研修会の開催を予定。	・実務者会議（R1.9.24）にて、住宅支援事業所より事業説明をしてもらう研修会を実施。
	ピアサポートの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ピアミーティングを月1回開催予定。</li> <li>・船橋市立看護専門学校の学生に講和及び船橋市地域活動支援センター見学への施設案内等のピア対応</li> <li>・ピアサポート関係研修に参加予定</li> </ul>	<p>&lt;啓発活動&gt;</p> <p>①船橋市看護専門学校施設見学会・講演</p> <p>②ピア交流会（千葉県社会復帰促進事業）についての意見交換会を実施（計3回）</p> <p>③東京医療保健大学看護学授業協力（計2回）</p> <p>④ピアサポート茶話会を実施（計3回）</p> <p>&lt;フォローアップ&gt;</p> <p>①ピアミーティング月1回開催（計12回）</p> <p>②ピアサポート関係研修会</p> <p>…フォローアップ研修、ピアサポーター・スタッフ養成講座、千葉県社会復帰促進事業、ボランティア講座見学</p>
	地域移行に係る事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内精神科病院内での地域移行啓発活動（入院患者とピアの交流会）</li> <li>・病院職員の研修会等でピア活動に関する啓発の機会を作る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域移行支援事業</li> </ul> <p>&lt;市内精神科病院入院患者とピアサポーターの交流会&gt;</p> <p>①千葉病院オアシスカフェ「フレッシュ&amp;チャーム」（計3回）</p> <p>②オアシスカフェwith船橋北病院（計2回）</p> <p>③オアシスカフェin総武病院（計1回）</p> <p>④船橋北病院内プログラム（退院準備しよう会）で施設案内。</p>
	構築状況の評価	会議体で地区診断を行う。	・実務者会議にて、船橋圏域や他市、県のデータをまとめ、グループワークにより地区の現状把握と分析を行った。
	地域移行関係職員研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域支援に関わる他職種の交流、ネットワーク作りを目的とした支援者ミーティングを開催。</li> <li>・市内精神科病院職員を対象とした福祉施設見学会及び包括ケアや地域社会資源に関する研修会を開催。</li> </ul>	<p>①総武病院看護部勉強会にて「地域包括ケアシステムについて」講話。また、市内3事業所（基幹、就労移行、地活Ⅰ型）より各事業の役割と活動について説明</p> <p>②他職種・他機関支援者ミーティング「オアシスカフェinふなばしー」を開催</p> <p>③市内精神科病院職員を対象にした福祉施設見学会を開催</p> <p>（就B,地活Ⅰ型,就労移行,生活介護）</p> <p>（3病院合同開催、計3回）</p>
	家族支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総武病院家族向けの講演会で講和を実施。</li> <li>・オアシス家族会とピアの交流会を開催。</li> <li>・保健所家族のための学習会への協力。</li> </ul>	<p>&lt;ピアサポーターと家族の交流会&gt;</p> <p>①総武病院家族交流会に参加。</p> <p>②船橋市保健所家族向け学習会に参加。</p> <p>③オアシス家族会とピアの交流会を開催（計2回）</p>

圏域名	事業名	事業計画	実施状況
市川	ピアサポートの活用	実務者会議にピアスタッフの参加 中山病院の院内研修会に数名派遣	実務者会議にピアスタッフの参加は都合で出来ていない。中山病院の院内研修会は、病院スタッフ向けであり、ピアスタッフではないが、地域移行経験者とその支援者の支援経過を発表した。
	地域移行に係る事業	病院や基幹に対し退院ニーズの調査を実施。 地域移行利用前の基本相談での対応。 中山病院にて患者向けの研修会の実施。 退院ニーズへの掘り起こし。	圏域内の2病院に対し、長期入院者の退院ニーズについてのアンケート調査を実施。また、そのアンケート調査で上がってきたケースで、かつすぐの地域移行支援利用ではない方に対し、基本相談で対応。中山病院での患者向けの研修会については未実施。
	構築状況の評価	地域の社会資源の調査の実施	今年度の実施は見送っている。
	地域移行関係職員研修	中山病院にて地域移行支援の研修会の実施 病院職員向け地域の事業所見学会の実施 障害分野と介護分野職員向けの地域移行支援の研修会の実施	11/29中山病院院内研修会実施。11/20ほっとハート、12/17Mネット、1/29サンワークにて病院スタッフ向け地域の事業所見学会を実施。参加者数30名ほど。2/7に伊藤順一郎先生をお呼びし、地域包括職員と、実務者会議の参加メンバーにて、障害と介護と連携の必要な地域移行支援の事例演習と、精神疾患についての講義を研修会として行う。
松戸	住まいの確保支援	各市において居住サポートの実態を調査	実施せず。
	ピアサポートの活用	恩田第二病院、ひだクリニック、 (株)MARSと連携を取、医療関係者や入院患者に対して地域での生活について情報提供を行い退院促進を図る。	ピアサポートの状況把握のためのアンケートを実施。
	地域移行に係る事業	地域移行支援事業所におけるスーパーバイズを図ると共に指定一般相談支援事業所の要請を行う。 適宜医療機関と連絡を取り退院支援について連携をする。	指定一般相談支援事業所における対象者のスーパーバイズを実施。また、圏域外における精神科病院からの地域移行支援を実施。
	地域移行関係職員研修	圏域内の相談支援事業所に対し地域移行支援事業の制度説明を図り、退院促進を図る。圏域内においての唯一の病床である恩田第二病院と連携を取り、病院職員への研修を行う。	実施せず。
	家族支援	社会資源について、地域における親亡き後の生活について見学等を実施する。	圏域内の家族会に訪問し、ニーズの聞き取りを実施。

圏域名	事業名	事業計画	実施状況
柏	住まいの確保支援	地域生活支援拠点での体験宿泊を実施予定。暮らし部会へ参加し、情報共有を図る。	相談部会・暮らし部会合同で住まいの課題について勉強会を開催。委員として暮らし部会に参加。
	ピアサポートの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・院内患者への退院促進に向け、手賀沼病院にて、2カ月に1回、ピアサポーターとデイケア利用者、長期入院患者との交流会を実施予定。</li> <li>・地域への精神障害の啓蒙活動として、ピアサポーター、当事者、支援者、家族等が集まる交流会を開催予定。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柏市内手賀沼病院にて、ピアサポーターとデイケア利用者、長期入院患者との交流会を開催。5/28,7/23,9/24,11/26,1/28,3/24(予定)実施。毎回入院患者より5～6名、デイケアより3～5名参加者あり。2名の退院に繋がった。</li> <li>・圏域を超えたピアの会として、今年度初めて「東葛圏域ピアサポート交流会」を発足。流山市のピアメンバーと協同で6/29,10/5,1/25に交流会を実施。内容についても、参加者皆で意見交換し、会をすすめている。「リカバリーストーリーを聞いてみよう」の会では、ピアサポーター数名が自身のリカバリーストーリーを発表。定員40名のところ、40名を超える当事者の参加があった。</li> </ul>
	地域移行に係る事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手賀沼病院におけるデイケア利用者と病棟患者との交流会を実施し、退院支援プログラム構築に関わっていく。</li> <li>・入院中からの病院と福祉の連携体制を構築する。</li> </ul>	市内手賀沼病院、初石病院の入院患者、病棟看護師、ワーカーが参加し、グループホームやB型事業所の見学ツアーを9/2、11/20の2回実施。どちらも6～7名の入院患者の参加があり、積極的に質問などをする姿も見られた。
	地域移行関係職員研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政職員、病院職員、訪問看護師、地域の相談員が集まり、成功体験も含めた事例検討会を実施予定。</li> <li>・訪問看護ステーションスタッフのスキルアップを目指し、勉強会を開催。</li> <li>・社会資源見学ツアーを実施。</li> </ul>	訪問看護ステーション主催で事例検討会を実施（全5回）。訪問看護師だけでなく、地域の相談員、ワーカー等が集まり、困っている事例等をもとに対応方法等を検討した。
野田	地域移行関係職員研修	地域移行の意識向上を目的とし、野田市内精神科3病院の職員を対象とした講演、研修会などを実施。	江戸川病院にてグループホームに関する研修会を実施する方向で調整中
	その他	野田市内の精神保健福祉領域の社会資源を整理した「精神保健福祉マップ」の作成。	市内20団体を掲載し作成。現在校正作業中。

圏域名	事業名	事業計画	実施状況
印 旛	住まいの確保支援	住まいの確保支援～精神障害者が地域で暮らし続けていくために～をテーマに、住宅確保要配慮者居住支援法人の講演を実施。	講演を1回開催、35名参加。多様な居住支援を紹介し、今後の住まいの確保につなげていく。
	ピアサポートの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代表者会議と実務者会議へのピアサポーターとピアスタッフの参加。</li> <li>・自助グループの毎月の定例会でのコーディネート等支援。</li> <li>・精神科病院の職員を対象にした講話にピアサポーターを派遣。</li> <li>・入院患者とピアの交流会。</li> <li>・ピアの雇用を促進する為「ピアサポートの活用」について、雇用する側と雇用される側のシンポジウムを実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代表者会議と実務者会議へのピアサポーター(1名5回)と、ピアスタッフ(1名3回)参加。</li> <li>・自助グループの毎月の定例会でのコーディネート等支援を実施。</li> <li>・精神科病院の職員を対象にした講話にピアサポーターを1回、1名派遣。23名参加。</li> <li>・入院患者とピアの交流会を1回実施。入院患者4名参加、ピアサポーター7名参加。3月にも1回開催予定。</li> <li>・「ピアサポートの活用」について、雇用する側と雇用されるピアのシンポジウムを実施。</li> <li>・ピアサポーター派遣事業について検討を実施。</li> </ul>
	地域移行に係る事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神科病院の職員を対象とした地域の福祉施設の見学を実施。</li> <li>・精神科病院の職員を対象とした、地域で暮らす精神障害者の理解を深める為の講和を実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神科病院の職員のグループホームと地域活動支援センターの見学を1回実施。2名参加、3月にも1回開催予定。</li> <li>・精神科病院の職員への講話にピアサポーターを延べ2名派遣。</li> </ul>
	構築状況の評価	・代表者会議で圏域の課題を挙げ、実務者会議で活動を実施。代表者会議で進捗状況の評価を受け、次年度の事業活動に活かす。	・代表者会議で圏域の課題を挙げ、実務者会議で活動を実施。2月の代表者会議で進捗状況の評価を受け、次年度の事業活動に活かす。
	地域移行関係職員研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神科病院職員に対する地域移行に関する研修の実施。</li> <li>・厚生労働省障害福祉専門官・地域移行支援専門官による「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムに向けて」講演会を実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神科病院の病院職員への講和にピアサポーターを1回、1名派遣。23名参加。</li> <li>・講演会を1回開催。53名参加。</li> </ul>
	家族支援	・圏域内の家族会から、「家族の求める在宅支援の現状と課題について」の報告とグループワークを実施。	・一回開催、39名参加。(内、7家族会10名参加。)
	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・淑徳大学生に対する精神疾患への理解を深める為の講話。</li> <li>・災害時対応の検討。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・淑徳大学での講話にピアスタッフ1名、ピアサポーター1名を派遣。大学生14名参加。</li> <li>・災害の情報共有の為の会議を開催。</li> <li>・圏域内自治体への災害の情報提供及び助言の実施。</li> </ul>



圏域名	事業名	事業計画	実施状況
香取	住まいの確保支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住まいの確保に係る相談傾向を調査し圏域課題の把握</li> <li>・地域不動産業者との意見交換。情報交換などの交流会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・香取圏域の基幹相談支援センター及び中核地域生活支援センターと協力し、「住まいの相談実績」の調査を行った。今年度数値把握１年目であり、次年度も数値把握し、相談傾向の比較を行う予定を代表者会議でも確認した。</li> <li>・令和元年１２月１２日に不動産屋との交流会を開催した。千葉県県土整備部都市整備局住宅課より住宅セーフティネットなど制度説明を実施。その後、グループワークで意見交換などを実施した。</li> </ul>
	ピアサポートの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ピアサポート講座への協力開催</li> <li>・ピアサポートの活用に向けた体制づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回基礎講座 令和元年２月４日（火）</li> <li>第２回養成講座 令和元年２月１３日（木）を実施予定。</li> </ul> <p>ピアサポーターの活躍の場の確保についてのアンケート調査を実施。また実務者会議や代表者会議でも協議検討し、次年度は講座の企画運営からピアサポーターに参画していくように体制を検討していく事となった。</p>
	地域移行関係職員研修	地域移行に関する研修会を２回開催予定。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年７月１２日（金）地域生活支援拠点を知ろう！みんなで考える地域生活支援拠点をテーマに研修会を開催。誰もが安心した地域生活のための地域整備についてなどお話を頂く。</li> </ul> <p>日本相談支援専門員協会顧問講師：福岡 寿 氏</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・病院患者様または病院関係者様にご参加頂いている地域事業所等をめぐる「お気軽見学ツアー」については、今年度の台風災害のため未実施となる。代表者会議でも報告を行い、次年度に開催を行っていく事となった。</li> </ul>
	ピアサポートの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海上寮療養所、京友会病院、藤田病院において、病棟患者や職員との交流等の目的で、ピアサポーターを２～３名派遣。</li> <li>・協議の場への参加</li> <li>・ピアサポーターの養成について、自立支援協議会と連携を図りながら仕組み作りを検討予定。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海上寮療養所に月１回ピアサポーター派遣を実施</li> <li>・京友会病院に隔月ピアサポーター派遣を実施。令和２年１月より毎月の派遣となる。</li> <li>・ピア２名包括ケアシステム構築推進会議への参加実施。</li> <li>・養成はまだ検討段階</li> </ul>



圏域名	事業名	事業計画	実施状況
海 匝	地域移行に係る事業	・ 病棟患者とピアの交流会を実施予定。 ・ 病棟患者とピアの個別相談会が実施できるように検討予定。	・ 上記同様病院への派遣を実施した
	地域移行関係職員研修	・ 地域生活の実態について、病院職員の理解促進のため、視察研修を実施予定。 ・ ピアについて、病院関係職員等への啓発活動の実施を検討予定。	・ 視察研修を3/13に就労継続支援B型ワークセンター、グループホームナザレの家で実施予定。
	家族支援	家族会の参加も検討して、相談を通じ家族が抱える課題を整理していく。家族会の活性化と後方支援できるネットワーク作り。	・ 家族教室実施。家族の声を確認し講師が直接アドバイスしてくれた。 ・ 家族会の現状や課題点について構築推進会議で議論し、今後について検討していくことを再度確認した。
	その他	事例検討を通じて地域課題の共有と抽出を行う。	・ 事例検討会を実施した。行政、医療、福祉事業者などの意見を確認することができた。
山 武	住まいの確保支援	不動産会社と協働して新規グループホームの立ち上げに協力。	新規事業者と協働して市内に4棟の立ち上げに協力。
	ピアサポートの活用	・ 山武保健所と協同して、実際に他圏域で活躍しているピアサポーターを招き、山武圏域におけるピアサポーターの活動状況を周知する場を作る。 ・ 医療、障害福祉サービス事業所と連携し、ピアサポーターの活用に向けた協議を行う。 ・ ピア交流会を開催し当事者間の孤立化を防ぐ。	平成31年4月より地域生活支援センターゆりの木にて毎月第1水曜日にピア交流会「さくらんぼの会」を発足。令和2年2月21日「夷隅・長生・山武合同ピアサポート交流会」さくらんぼの会より2名のピアサポーターがリカバリーストーリー発表予定。
	地域移行に係る事業	地域移行促進に向け、浅井病院と協議、連携を図る。	地域移行機能強化病棟立ち上げ会議に毎月参加
	地域移行関係職員研修	・ 部会会員を対象に、障害や疾患についての勉強会、地域資源を理解、活用するための研修会を行う。	H31.5.17講義「認知行動療法で心の健康づくり」31名参加、H31.7.19講義「精神障害の基礎知識」39名参加、H31.9.19講義「家族支援」33名参加
	その他	自立支援協議会や中核地域生活支援センターと連携し、精神障害者の地域移行支援が停滞しないように啓発活動に協力する。	毎月の自立支援協議会への出席、R1.6.4中核地域生活支援センター主催「H31年度山武圏域連絡協議会」出席、R1.11.25山武圏域自立支援協議会公開研修会に出席し意見交換を行った。

圏域名	事業名	事業計画	実施状況
長生	住まいの確保支援	実務者会議にて現状と課題を共有して今後の展開を検討する。	5月の例会で行った。
	ピアサポートの活用	サポーター養成を意識して当事者活動支援を年間4回開催。	5/23,8/22,11/28,2/27開催(予定)
	地域移行に係る事業	管内精神科病院2カ所の医師との意見交換会を1回ずつ開催。	6/13に開催した
	構築状況の評価	代表者会議で進捗状況を評価する。	10/10に実施した
	地域移行関係職員研修	介護保険ケアマネ協議会と協働した勉強会と事業所に出張しての勉強会を開催予定。	①2/24開催予定 ②7/30ARUKU訪問
	家族支援	個別支援の中での家族支援を行う。	適宜実施
	その他	地域住民への啓発を図るために映画会を開催。	3/14開催予定
夷隅	ピアサポートの活用	・ピアサポート講座やピアサポーター交流会等開催し、圏域内でのピアサポートに関する周知と普及を図る。 ・ピア同士の交流やSST等を実施。	ピアサポート交流会 現在まで10回実施 職員研修に、ピアサポーターを講師として依頼 普及啓発事業に、ピアサポーターを講師として依頼
	地域移行に係る事業	・地域移行促進に向け大多喜病院との協議の場を設ける。 ・毎月1回、地域移行支援協議会開催予定。	大多喜病院にて地域移行支援会議実施
	地域移行関係職員研修	民生委員等に対し、精神障害を含めた障害者の特徴、対応方法等講義を検討。	民生委員、中核地域生活支援センター職員に対し、精神障害についての講義 講師を招致しての事例検討会実施 弁護士を招致して、障害者による法に触れたケースの判例等講演
	家族支援	家族同士の交流の場をサポートを行う。	実施なし
	その他	・障害福祉に関する社会資源を知ってもらうためのパンフレットの作成。 ・高校生向け障害理解を深めるための講義。	社会減マップ作製し、本年度中に配布予定 高校生に対する精神障がいへの普及啓発事業実施（保健体育の授業でピアスタッフの体験談を実施）
安房	ピアサポートの活用	・病院内での地域移行利用経験者の体験談の実施。	令和2年3月予定
	地域移行に係る事業	地域移行促進に向けての病院内の従事者並びに入院患者対象に向けての啓発活動。	令和元年11月10日
	地域移行関係職員研修	圏域内の社会資源等の照会並びに見学会。（医療関係者、代表者会議関係者）	令和2年2月・3月を予定
	その他	・民生委員等への事業説明等研修開催。	令和元年7月10日・10月9日 こころの健康のつどい（11/10）開催。

圏域名	事業名	事業計画	実施状況
君津	住まいの確保支援	実務者会議等で障害者が入居しやすい住宅情報の提供などを行い、住まいの確保のための支援体制に努める。	実務者会でGHコーディネーターから圏域内のGHの新設情報の提供を受け、支援で活用できるよう情報を共有した。
	ピアサポートの活用	ピアサポートの研修会等に参加すると共に、ピア交流会を開催し、ピアサポーター養成の可能性について検討する。	12月11日に君津圏域で開催されたピアサポート交流事業の事務局を行い、圏域内の関係機関や当事者に対しピアサポーターの活動内容についての理解を深めた
	地域移行に係る事業	入院中の患者を対象に退院促進に向け、病院をはじめとした関係機関との連携や情報交換を行う。	病院、行政や事業所との連携を図り、宿泊や日中活などの体験を通じて退院に向けた支援をしている。
	構築状況の評価	代表者会議で当該年度における事業評価を受ける。また、その結果を次年度の事業活動に活かす。	2月3日に開催予定
	地域移行関係職員研修	地域移行に関する保健・医療・福祉の相互理解を促進するため、研修会を開催する。	薬剤師を講師として、支援者へ抗精神薬の服薬指導や管理について講演いただいた。
	家族支援	家族会が安心して、精神障害者本人に対して支援できるように連携をとる。	実務者会の構成員に参加しているので、意見交換などを行い支援している。

圏域名	事業名	事業計画	実施状況
市原	住まいの確保支援	地元不動産業者との定期的な情報交換の場を設定し支援があることを十分に理解してもらい、住まいを求める方とのマッチング等の支援を実施。	転居希望対象者に対し、不動産業者とのマッチング及び連絡調整や契約等の支援を実施。
	ピアサポートの活用	・受託事業所内にて居宅介護事業及び自立生活援助事業の開業や送迎の有償サービスなどの実施を目指して準備し、そのスタッフとしてピアも稼働できるように基盤整備する。 ・地域移行関係職員に対する研修においてピアの体験談を講和する機会を作る。	5/20研修においてピアの体験談を講和する機会の提供及び後方支援 10/26フェスタにてピアが舞台に登壇する後方支援
	構築状況の評価	会議体において、構築状況の評価を行い、圏域内の地域自立支援協議会へ反映させ連携を図る。	・圏域内の精神科病院入院者数等や社会資源について整理 ・病院職員に対し退院支援についての意識調査を実施
	地域移行関係職員研修	就労支援事業所職員、精神科病院職員、福祉サービス事業者等を対象として3回開催。	5/20就労定着支援について 7/22包括ケアの病院の役割 8/27GH世話人研修と共同開催 「薬について」 10/26市原市精神保健福祉フェスタ 11/28中核障害部会と共同開催 「訪問看護と訪問調剤」 1/20包括ケアの病院の役割
	家族支援	地元精神障害者家族会が中心となって運営している地活Ⅲ型事業所の定期的な会議へ参加し、専門的なアドバイスと運営に関する方法支援を実施。	左記載の内容について月1回実施
	その他	・普及啓発の一環として市原精神保健福祉フェスタを開催。 ・圏域内地域自立支援協議会に、精神障害部会の設置を働きかける調整を行う。	10/26市原市精神保健福祉フェスタの開催 (一般市民に対し精神科医による地域包括ケアシステムについての講演を実施)

## 千葉県精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業実施要綱

## 1 目的

精神障害のある人が、地域の一員として自分らしい暮らしをすることができるようにするためには、差別や偏見のない、あらゆる人が共生できる社会を実現していくことが重要である。

そこで、医療、福祉、介護、住まい、地域の助け合い、教育が包括的に確保された「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」（以下「包括ケアシステム」という。）の構築に資する取組の推進を目的とする。

## 2 実施主体

本事業の実施主体は千葉県（以下「県」という。）とする。なお、下記 5 に掲げる事業については、指定一般相談支援事業者等（以下「受託者」という。）に委託して実施するものとする。

## 3 実施圏域

本事業の実施圏域は、障害保健福祉圏域ごとに下記 5 の事業を実施するものとする。

## 4 職員の配置

## (1) 圏域連携コーディネーターの配置

受託者は、本事業を円滑に実施するため、精神保健福祉士又はこれと同等程度の知識を有する者を圏域連携コーディネーターとして 1 名以上配置する。

## (2) 圏域連携コーディネーターの役割

圏域連携コーディネーターは、各圏域の実情を把握し、保健・医療・福祉関係者等と連携を図りながら、包括ケアシステムの構築推進に向けた取組を行うものとする。

## 5 事業内容等

## (1) 保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置等

受託者は、事業を実施する圏域ごとに、保健・医療・福祉関係者による協議の場（以下「協議の場」という。）を設置するものとする。既存の協議会（障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（平成 17 年法律第 123 号）第 89 条の 3 第 1 項に規定する「（自立支援）協議会」をいう。）の専門部会又はそれと同等の既存の組織を協議の場として位置付けることは

差し支えない。

(ア) 協議の場の参加者について

保健・医療・福祉関係者については、圏域ごとの実情に応じ選定できるが、参加者としては次の a～g よりそれぞれ少なくとも 1 名以上の参加が望ましい。

- a 県等における精神科医療を所管する部局の職員
- b 県等における障害保健福祉を所管する部局の職員
- c 市町村における障害保健福祉を所管する部局の職員
- d 保健関係者：保健所、精神保健福祉センター等の職員及び市町村における精神保健担当保健師等
- e 医療関係者：精神科病院、その他の医療機関、訪問看護ステーション等の医師、看護師、精神保健福祉士、作業療法士等
- f 福祉関係者：基幹相談支援センター、福祉事務所、相談支援事業所、障害福祉サービス事業所、居宅介護支援事業所、介護保険サービス事業所等の従事者等
- g その他の関係者：関係機関、関係団体、精神障害当事者及びその家族、障害者等の福祉、医療、教育又は雇用に関連する職務に従事する者等

(イ) 協議内容について

協議内容は、地域の課題を共有化した上で、包括ケアシステムの構築に資する内容であること。

- a 精神障害者の住まいの確保支援に係る事項
- b ピアサポートの活用に係る事項
- c 入院中の精神障害者の地域移行に係る事項（地域移行支援の活用促進を含む）
- d 包括ケアシステムの構築状況の評価に係る事項
- e 精神障害者の地域移行関係職員に対する研修に係る事項
- f その他（包括ケアシステムの構築に資する事項）

(ウ) 協議の場の開催について

協議の場は、代表者会議と実務者会議の 2 部構成とし、協議内容に応じて、柔軟に参加者を決定しても差し支えない。開催頻度は、代表者会議は年 1 回以上、実務者会議は月 1 回程度とすることが望ましいが、合理的な理由があればこの限りではない。年度単位で、事業内容の振り返りや包括ケアシステムの構築状況の評価が出来るように、戦略的に協議の場を運営すること。

## (2) 精神障害者の住まいの確保支援に係る事業

受託者は、精神障害者が入居しやすい民間賃貸住宅情報の提供や公営住宅の入居促進等により、精神障害者の住まいの確保支援の体制整備に努めること。

## (3) ピアサポートの活用

受託者は、精神科病院等に入院中の患者の地域移行や精神障害者が地域の一員として安心して自分らしい暮らしができるよう、精神障害者の視点を重視した支援の充実や自らの疾患や病状について正しく理解することを促す観点から、ピアサポートの活用を推進するための体制整備に努めること。

また、受託者は、ピアサポーターの活用場の拡大を目指し、研修等を受講したピアサポーターが相談支援事業所等に雇用される等、関係機関との連携を図ること。

なお、ピアサポーターが活動するに当たっては、ピアサポーターに対し、活動内容、報酬、活動時間等の条件を明確にし、契約書等を取り交わすこと。

## (4) 入院中の精神障害者の地域移行に係る事業

受託者は、精神科病院の医師、看護師、精神保健福祉士等の多職種と、相談支援専門員や介護支援専門員等の地域の関係者がチームとなり、障害福祉サービス事業所等と十分な連携の下、退院に向けた相談・支援等の包括的な地域生活支援プログラムの実施に努めること。なお、本事業のプログラムの実施に当たっては、病院職員等の関係者が協力し、プログラム参加者に退院の意向等を確認し、地域移行支援の利用につなげる等の検討が望ましい。

## (5) 包括ケアシステム構築状況の評価に係る事業

受託者は、包括ケアシステムの構築状況の評価に当たり、精神障害者を取りまく医療、障害福祉・介護、住まい、社会参加（就労）、地域の助け合い、教育の実態把握に努めること。実態把握の方法については、アンケート調査、関係団体等へのヒアリング等のほか、精神保健福祉関係資料などの既存データの活用も考慮すること。

また、地域の課題の整理に当たっては、精神障害者や家族等のニーズを把握することが望ましい。

## (6) 精神障害者の地域移行関係職員に対する研修に係る事業

受託者は、精神科病院、障害福祉サービス事業所、介護保険サービス事業所等の職員に対し、精神障害者の地域移行に関する保健・医療・福祉の相互理解を促進するため、地域の関係者と協働し、研修の実施に努める。なお、研修においては、以下の点に留意すること。



ア 一方的な講義とならないように配慮し、演習を含めるなど実効性を伴うものであること。

イ 精神科病院等の医療従事者及び相談支援事業所等の職員が精神障害者の地域移行に関し相互理解を深められるものであること。

ウ 包括ケアシステムの構築に資する内容であること。

#### (7) 精神障害者の家族支援に係る事業

受託者は、精神障害者の家族が、包括ケアシステムに対する理解を深めるとともに、家族が安心して、精神障害者本人に対する支援ができるよう、家族支援に努める。なお、実施においては、以下の点に留意すること。

ア 相談等を通じて家族のニーズを把握すること。その上で、精神障害者の家族が抱える問題を整理して、それぞれのニーズに合った支援を行うように努めること。

イ 協議の場等を活用し、精神障害者の家族が抱える課題等を共有化するように努めること。

#### (8) その他

受託者は、(1)～(7)に掲げる事業のほか、包括ケアシステムの構築に資する事業を実施することができる。

### 6 留意事項

(1) 県は、圏域の市町村、精神科病院及び障害福祉サービス事業者等の関係機関に対して本事業を広く周知すること。

(2) 県は、圏域ごとの包括ケアシステム構築状況の評価を把握するとともに、全圏域の評価情報を各圏域に提供すること。

(3) 保健所は、圏域内の市町村や受託者と連携し、地域の課題やニーズの整理を行うとともに、協議の場の運営や関係機関への協力依頼を行うこと。

### 7 報告

(1) 受託者は、圏域連携コーディネーターを配置するにあたり、県にその者の従事者名簿を提出すること。

(2) 受託者は、別に定める様式により活動等を報告すること。

### 8 秘密の保持等

(1) 本事業に関係する者は、対象者の人格を尊重して事業を行うとともに、対象者に関して知り得た秘密を守らなければならないものとする。

(2) 受託者は、本事業に係る経理と他の事業に係る経理とを明確に区別する

こととする。

附則

この要綱は、平成 3 0 年 4 月 1 日から施行する。